

# シラカンバ (シラカバ)

*Betula platyphylla*

カバノキ科



シラカンバ

## 名前の由来

カバはカバノキ類の古名カニハの転じたカンバの略。樹皮が白いカバの意。漢字名：白樺

## 形態的特徴

樹高20~25m、太さ30~40cmになる落葉樹、日当たりのよい所や山火事跡地などに生える。雌雄同株。葉は三角状広卵形、長さ5~8cm、幅4~6cm、鋭尖頭、基部ほぼ切形、重鋸歯縁、側脈6~8対、秋に黄葉、互生する。花は雄花序は尾状で長さ5~7cm、下垂し黄褐色、雌花序は直立し2.5~4cm、紅緑色、5月開花。雌雄異花。果実の果穂は円柱形で下垂し、長さ3~4.5cm、9月~10月成熟、初め緑色のち淡褐色。

類似種との見分け方：ダケカンバは主に標高の高い場所に生育し、葉の鋸歯は大きい、シラカンバの鋸歯は小さい。ウダイカンバは葉の基部が著しいハート形を示す。

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原・樹林)  
鳥類  
ワシタカ



シラカンバの雄花



シラカンバの雌花



シラカンバの実



シラカンバの葉。ギザギザが小さい



シラカンバの樹形。幹が直立する



シラカンバの樹皮。薄皮がめくれる



シラカンバの冬芽



シラカンバの枝先の葉

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期												
結実期												

## 生育環境・分布

土壌：埴質壤土、適潤性～弱湿性、通気の悪い土でも耐える、pHは弱酸性、耐酸性、堅密度は耐堅密性。陽性木。  
分布：国外分布は、アジア東北部、樺太、千島、朝鮮半島、

カムチャッカ。国内分布は、北海道、本州中部以北。北海道内分布は、全域。  
十勝地方生育状況は、全域。

## 繁殖生態・寿命

花は5月に開花し、種子は9～10月に成熟する。風によって種子分散する。寿命100年、樹高21m、直径38cm、樹齢

123年（新王子林木育種場 標本館）

## 他生物との関わり

エルタテハ幼虫の食樹となる。



エルタテハ。幼虫時シラカンバを食樹とする  
(標本-吉原利之氏所蔵)

## 植栽関係

実生による。種子は秋に取りまきするか、乾燥保存しておいたものを春まきする。樹齢35年で、直径31cm、樹高14m、根系の最大深度80cm、根の広がり半径1.5m。根の支持力は弱い。移植は難しい。切り株からは萌芽することは少ない。



類似種ダケカンバ。標高が高い場所に多い。葉のギザギザが大きく、側脈が7～12対ある

## 興味深い話

- 庭園・公園・街路樹、に用いられる。材は建築、器具材、民芸品、細工物、版木、パルプ材、割箸などに用いられる。皮付きの丸木を柱に使用することがある。樹皮は薄くはがして曲物や屋根葺きに用いる。雨中でもよく燃えるため、薪材としても重宝された。樹皮を蒸留して採った樺油は芳香があり、化粧品や香料に用いた。
- 北海道の方言＝シラカバ、カバ、カンバ、カバノキ、ガンピ。花言葉＝いくじなし。
- 十勝地方のアイヌ語では「タツニ」という。
- アイヌ文化では山奥へ狩猟にいった時、即席のス（鍋）をこしらえて煮炊きした。このスに利用される木の皮は広く大きくそぎ取ることのできるシラカンバの樹皮を用いる。
- シラカンバの樹皮の鍋で鍋焼きうどんをつくったら、木の香りと味がしみこんでとてもうまいという。
- 幹に穴をあけて集めた樹液は、ほんのりと甘い。

- 帯広市、音更町、上士幌町、忠類村、陸別町の市町村指定木である。



冬のシラカンバ

## 配慮事項

樹齢35年で、直径31cm、樹高14m、根系の最大深度80cm、根の広がり半径1.5m。根の支持力は弱い。移植は難しい。

切り株からは萌芽することは少ない。。

### 参考文献

「図説花と樹の大事典」木村陽二郎 監修 植物文化研究会・雅麗 編集 柏書房 1996  
「アイヌ植物誌」福岡ト子 草風館 1995  
「新装版 樹木根系図説」苅住 昇 誠文堂新光社 1987  
「天然林施業Q&A」石塚 森吉ら 北方林業会編 pp. 107-108 1988

萌芽更新を利用した広葉樹の施業 佐藤俊彦 年一巻号： 光珠内季報 1999-116  
「日本のチョウ」上野明雄 小学館 1981  
「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館（編）、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会 2004

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ